

医療・健康関連分野にかかる施策の展開

医療戦略会議からの提言も踏まえ、超高齢化を見据えた中長期的な医療・健康サービスの向上や関連産業の振興に向けた施策を展開

◆医療戦略会議提言～7つの戦略

戦略① 予防・疾病管理 府民行動改革
⇒民間ノウハウの活用等による住民の行動変革

戦略② レセプトデータの戦略的活用
⇒レセプトデータ分析による医療費削減・高額化防止

戦略③ 医療情報の電子化とビッグデータの戦略的活用 ⇒医療関連データの利活用

戦略④ 地域密着型医療・介護連携 最適モデル実現 ⇒シームレスな連携の実現

戦略⑤ 民間病院の高度化・経営基盤強化
⇒増益モデルへの転換や再編・建替等による基盤強化

戦略⑥ スマートエイジング・シティ
⇒超高齢社会に対応するまちのモデルづくり

戦略⑦ スマートエイジング・バレー(産業振興)
⇒健康・医療・生活関連のビジネス等集積拠点形成

提言を踏まえ展開

主な関連予算(⑳ 1億2,100万円 うち㉑補正 8,500万円)

戦略①「予防・疾病管理 府民行動変革」関係

補 ■【此花区】「めざせ平均寿命アップ！がん検診受診促進プロジェクト」 (㉑補正 400万円)[再掲]

補 ■地域巡回型がん検診事業 (㉑補正 7,100万円)

戦略②「レセプトデータの戦略的活用」関係

【国民健康保険関連】 (㉑ 1,100万円)

□レセプト点検業務の効率化のモデル実施事業

□糖尿病性腎症重症化予防に向けた保健事業

(モデル事業)

□頻回受診者健康教育啓発事業

【生活保護関連】 (㉑ 2,500万円)

□レセプトデータのさらなる活用のための医療情報分析事業

□看護師等の専門員による適正受診指導モデル事業

戦略④「地域密着型医療・介護連携最適モデル実現」関係

補 ■認知症初期集中支援チームモデル事業 (㉑補正 1,000万円)[再掲]

⇒上記以外の事項についても、提言内容を踏まえ、大阪府とともに、施策の充実、新たな取組みを進めるよう検討